

大規模盛土造成地第二次スクリーニング調査結果について（363-T-007）

長瀬町 建設課

1. はじめに

長瀬町では地盤調査及び安定計算を実施し、地震時の大規模盛土造成地の安全性を評価することを目的として盛土番号 363-T-007（長瀬町大字野上下郷地先）における第二次スクリーニング調査を実施しました。調査結果の概要を以下より示します。

2. 地質調査結果

本調査ではボーリング調査及び室内土質試験を実施し、併せて地下水位観測を 2025 年 7 月中旬～2026 年 3 月初旬まで行いました。地質調査結果をもとに、安定性の評価を行うための地盤モデルを作成しました。下図に示した黄緑色（B1 層）及びオレンジ色（B2）層が盛土地盤で、水色一点鎖線が地下水位になります。

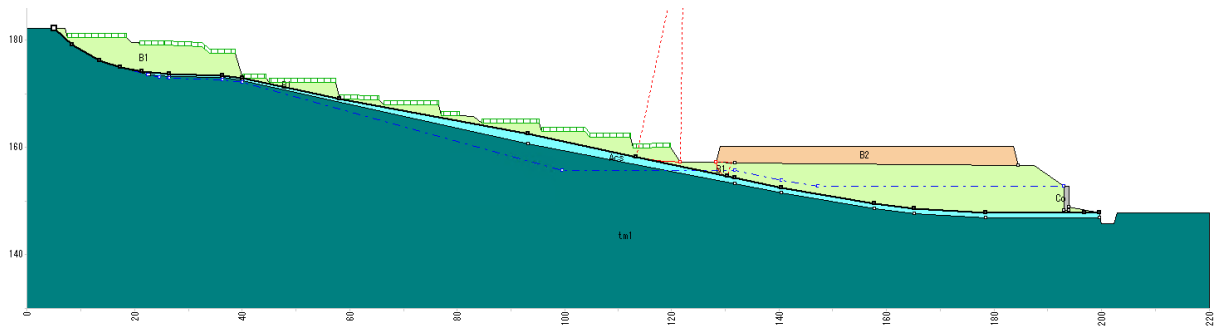


図 1 作成した地盤モデル

3. 安定解析結果

盛土の安定性を評価した結果、仮想のすべり面を想定した多くの検討ケースで安全性の照査基準を満足しない結果となりました。

表 1 安定解析結果

すべり形状		安全率（ ■:SAFE, ■:OUT ）	
		常 時 照査基準： $F_s \geq 1.5$	地震時 照査基準： $F_s \geq 1.0$
複合すべり	すべり面①：上段	1.883	0.810
	すべり面②：中段	3.674	1.811
	すべり面③：グラウンド	1.479	0.447
	すべり面④：②+③	2.184	0.744
単一の円弧	擁壁の変状部付近	1.140	0.828

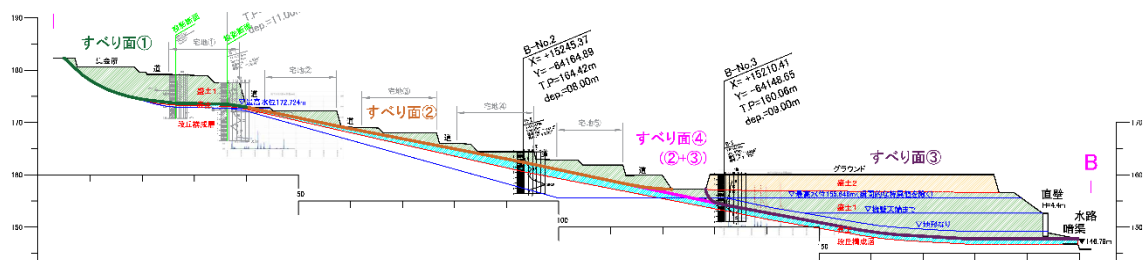


図 2 想定したすべり面形状